

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第1節 暮らしやすい快適なまちをつくる

目標1 計画的な都市空間づくり

地域・地区、区域・区分の見直しを行い、時代に即した適正な土地利用の誘導や都市施設の適正配置を図ります。

目標2 地域景観の形成

市民の皆さんとともに景観条例や各種指針、基準、マニュアルなどの整備を進めます。

第2節 良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる

目標1 快適な住環境づくり

テレビの難視聴地域の解消や質の高い画質、情報の収集ができるデジタル化に向けた中継局の整備をするほか、良質な水の安定供給の確保や、身近な公園の再整備を行います。

公園維持管理経費 9千103万1千円

市内124カ所の公園や広場の遊具、照明灯、樹木などを適正に維持管理します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

街区公園等清掃交付金 64万円

公園や広場の清掃や草刈りなど維持管理業務の一部を協力していただいた町内会などに交付金を交付します。

実施予定町内会 40町内会

実施予定公園数 54カ所

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

水道事業

水道水の安定供給を図るため、水道施設の維持管理や配水管の新設、道路改良に併せた移設工事などを行います。

給水戸数 2万2千151戸、年間給水量 429万5千立方メートル

- ・送配水施設整備事業 1億8千496万円（うち市債7千950万円）
- ・設備事業費 1億3千581万9千円

▶ 問い合わせ 水道グループ

簡易水道事業

簡易水道により札内・来馬地区などに安全な水道水を供給します。

給水戸数 92戸、給水量 9万3千600立方メートル

- ・簡易水道施設管理経費 2千292万8千円（うち市債900万円）

▶ 問い合わせ 水道グループ

目標2 良好な居住空間づくり

民間と公共の情報を共有し、役割分担を明確に、優良な宅地の供給や良好な住宅建設の適正な誘導に努めます。

市営住宅改善経費（高齢者・身体障がい者施策） 225万円

市営住宅に入居している高齢者や身体に障がいのある方が暮らしやすいよう、日常生活の利便性に配慮し、居住環境の改善を行います。

▶ 問い合わせ 建築住宅グループ

市営住宅（鷲別東団地）除却事業費 3千510万円（うち国1千574万1千円）

コンクリートブロック造平屋建て11棟46戸、二階建て2棟10戸を解体撤去します。

▶ 問い合わせ 建築住宅グループ

市営住宅（幌別団地）除却事業費 1千590万円（うち国713万円）

コンクリートブロック造平屋建て5棟28戸を解体撤去します。

▶ 問い合わせ 建築住宅グループ

市営住宅火災警報器設置費 905万8千円（うち国383万6千円）

火災から入居者の生命や財産を守り、被害を軽減させるため、住宅内の寝室などに火災警報器を設置します。

- 設置団地 千代の台団地 14棟・60戸
- 新生団地 3棟・84戸
- 桜木団地 3棟・130戸
- 美浜団地（改良住宅）8棟・38戸
- 幌別東団地（改良住宅） 2棟・8戸

▶ 問い合わせ 建築住宅グループ

第3節 道路交通網の整ったまちをつくる

目標1 総合的な交通網の整備

既設道路が十分に機能しているかを調べ、道路網の見直しを行い、障がい者や高齢社会にも配慮し、安全で利便性の高い整備を進めます。

鉱山地域住民タクシー経費 13万円

鉱山地域住民の交通の便を確保するため、タクシー料金の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

生活交通路線維持対策事業費補助金 593万6千円

市民生活に必要なバス路線の維持が、自家用車の普及により困難になっていることから、国や北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に補助金を交付し、バス路線を維持します。

準生活交通路線 1路線（負担割合 道3分の1、市3分の2）

市生活交通路線 8路線（市単独補助）

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

道路台帳図作成委託料 550万円

市道を適切に管理するため、新設や変更などを行った市道の現況測量を行い、道路台帳図の作成と道路台帳の修正や作成を行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

市道用地確定測量委託料 198万7千円

市道を適切に管理するため、道路整備を完了している市道で未処理用地となっている用地の現況測量や用地確定測量を年次的に行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

市道用地買収費 712万5千円

市道用地確定測量により確定した未処理用地や事業に伴う用地の買収を行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

広域幹線、市内幹線道路網の整備

・カルルス路線改良事業費 4千730万円

(うち国2千820万円、市債1千780万円)

幌別市街地とカルルス温泉を結ぶ幹線道路の一部(延長855[㍎]、幅員7.5[㍎])の舗装工事などを行います。

・市道舗装排水整備事業費 5千300万円(うち市債3千290万円)

市道の改良工事や舗装工事などを行います。

・カルルス路線外1改良事業費 2千700万円(うち市債2千430万円)

ホテル岩井からカルルス温泉市街地の道路(延長32[㍎]、幅員7.5[㍎])の改良舗装工事と寿橋の補修を行います。

・登別温泉中央通り外1改良事業費 2千500万円(うち市債2千250万円)

温泉バイパス事業に関連する道路改良舗装工事(延長72[㍎])などを行います。

・東町34号線改良事業費 1千300万円(うち市債1千170万円)

消防登別支署前の市道の歩道拡幅工事(延長58[㍎]、歩道幅員3.5[㍎])を行います。

・蘭法華通り改良事業費 2千300万円(うち市債2千70万円)

蘭法華トンネルから新蘭法華跨線橋の区間の道路の一部(延長52[㍎])の改良舗装工事を行います。平成20年度完成予定。

・鷺別30号線改良事業費 1千130万円(うち国660万円、市債410万円)

鷺別30号線の一部を改良するため、実施設計、用地買収を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

市道常時補修費 6千866万円

歩行者や通行車両の安全を確保するため、市道を適切に維持管理します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

除雪委託料 4千万円

冬期間における歩行者や通行車両の安全を確保するため、市道の除雪や融雪剤の散布を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

冬道対策経費 567万2千円

冬期間における歩行者や通行車両の安全を確保するため、融雪剤購入、ロードヒーティング設備や砂箱の修繕を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

橋梁維持補修経費 328万円

歩行者や通行車両の安全を確保するため、橋梁の維持管理や補修を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

地籍調査管理経費 86万円

地籍調査事業の成果の閲覧や調査を行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ